

AI搭載MGモデル 学習機能で操作アシスト



AIアシスト機能でコーナリングも安心

AIのフジイ 新型乗用草刈機を発売

フジイコーポレーション(藤井大介社長)は、AI(人工知能)機能を搭載した四輪駆動乗用草刈機「MG1022X-Ai」を新発売した。従来プロ仕様として販売していたMGモデル(22馬力4WD)にAI機能を搭載することで作業者の好みを学習し、適切な操作アシストにより操作性、安全性、乗り心地が大幅に向上する。税込価格140万8000円。

フジイコーポレーションは、2019年にAI新潟県燕市小池281除雪機を発売しており、今回のAI草刈機は、今回のAI草刈機は2機種目となる。高齢者や女性、初心者など、誰でも操作しやすい草刈機を目指した。

新型のAI草刈機には、学習機能、操作アシスト機能、スピード調整機能の3つが備わっている。AIが作業者の乗り方の好みを学習することによって、最適な操作アシストやスピード調整を行うことができる。学習中は手動によるスピード調整などの作業が必要だが、その後はAIがスピード調整や操作アシスト

やスピードダウンが可能となった。また、AIでスピード調整を行うことにより、走行時などの危険を軽減する③乗り心地により、快適な乗り心地を提供できるようになった。シートの上下も走行状態に合わせてワンタッチで調整できる。リラックしながら草刈り作業を行うことができる。

同社では「今後もAIのフジイコーポレーションに相応しく、バージョンアップされたAI機能を搭載した乗用草刈機を開発していく。そして、除雪機はもちろん、高所作業機など他の商品にもAI搭載を行っていく予定」という。